

# 日銀神戸 支店長の 視点



山崎真人氏

緊急事態宣言が解除され2カ月弱がたちました。街中での人の流れは戻りつつあり、デパートや観光地への客足も回復傾向です。学園祭や修学旅行などコロナ禍で中断していたイベントが開催されたほか、神戸のウオーターフロントには新たなランドマークとして「神戸ポートミュージアム」がオープンしました。前向きな変化を伴いつつ、ゆっくりと日常の回復が進んでいるように感じています。

さて、秋から冬にかけての楽しみとしては、おいしい食べ物が増えます。豊饒な五穀である、この季節の代表格である日本海のスワイガニをはじめ、山海の幸は枚挙にいとまがありません。現在はまだ多くの方がマ

## 晩秋に地元の旬を楽しむ

クチン接種を終え、感染症が落ち着いているほか、年内は兵庫県による県民向け宿泊サポート制度が後押しとなっています。久方ぶりに近場の温泉地でゆっくりと、旬の食を楽しむ骨休めするよい機会かと思えます。

とくに、お目当てのカニですが、価格は例年よりも上昇傾向とのこと。天然物ゆえ、供給は漁獲量に左右され、原油価格の上昇がコストアップとなりま

す。さらには、カニ以外にも、含めておいしい海産物に対してグローバルな需要の高まりもみられます。お店側も工夫を凝らしていますが、価格上昇はやむを得ないところ。お財布との相談は必要ですが、たまには自分への褒美として旬を楽しむたい気持ちがあります。肴にあわせるのはやはり日本酒でしょう。当地の出荷量ももちろん日本一、種類も豊富です。家飲みが続きましたが、近場の居酒屋で地元の銘酒を味わうのもいいですね。